

キャベツの青虫取りと追肥



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



キャベツ苗



発芽直後のニンジン

先週の月曜日10月8日は寒露、渡り鳥が来る頃。夏休みが終わり石割農園も学生で溢れていました。9月に定植したキャベツやブロッコリには既にモンシロチョウやヨトウガの卵がたくさん産みつけられており、葉を裏返しては青虫を探して潰します（上）。ニンジンにはいつも発芽率が悪く欠株が多いのですが、今年はシートテープのおかげできれいに揃いました（下）。水溶性の紐（テープ）に種子が糊で貼り付けられ、その紐をピンと張って同じ深さに埋めていく、という秘密兵器。手で播くよりずっときれいに揃います。